

# 韮崎市消防団を追う



消防団って実は。。。

最新の活動状況の全貌が明らかに？

新入団員の本音!?

消防団に入ったキッカケは？  
**志村団長（以下 志村）**  
韮崎市消防団団長の志村仁です。私は平成三年に藤井分団第四部に入団し、現在まで二十五年間消防団員として活動をしています。飯塚さんが、入団を決めた理由は何ですか？

消防団の活動はどうですか？  
**志村** なるほど。消防団に入団して九か月が経過しようとしています。同じ部の人や地域の方との繋がりも広がっていると思いますが、活動はいかがですか？



新入団員紹介  
飯塚 慎一  
年齢：27歳  
所属：旭分団第2部  
「この状況で入団しても団員の皆様に迷惑を掛けてしまおうと思ひ、お断りしていました。その後何度も誘っていただいて、勧誘に足を運んでいただいていた方の熱意と、ちょうど仕事も慣れてきたこともあり、今年度入団させていただきました。」

事務局 今回、消防団新聞の発行にあたりまして、普段あまり馴染みのない組み合わせで対談をしていただくことで、消防団というものが理解いただけるのではないかと思ひ、団長と新入団員さんの対談を企画させていただきました。

新入団員 飯塚さん(以下 飯塚) 私は、今年度旭分団第二部に入団しましたが、入団のキッカケは、地元消防の人からの勧誘です。実は何年前にもお声掛けいただいたんですが、当時は就職したタイミングでしたので、仕事も不慣れなことも多く、この状況で入団しても団員の皆様に迷惑を掛けてしまおうと思ひ、お断りしていました。その後何度も誘っていただいて、勧誘に足を運んでいただいていた方の熱意と、ちょうど仕事も慣れてきたこともあり、今年度入団させていただきました。」

◆新春本音トーク（志村団長 × 新入団員）  
私たち消防団を日頃から支えていただいております市民の皆さんに、日頃の活動をご紹介します中で身近に感じていただけるよう、この度、消防団新聞を発行することになりました。  
これからも、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

飯塚 最初は不慣れなことも多く、慣れるまでは大変でした。月二回の定期点検やため池の清掃等、「こんな活動があるんだ！」と思っただのが正直な感想です。時間が経過するごとに作業にも慣れてきて、今では楽しく活動しています。



人脈が広がる  
ことが消防の  
良さだね。

また、日々の点検や消防のイベントをこなしていくうちに、地元の間とも打ち解け、地域の方との交流も増え、その中で役割もだんだんと理解できるようになりました。同じ消防団員の中には、自分と近い年齢の人がいなく、最初は不安が大きかったですが、先輩方の厚いサポートのおかげでストレスなく活動ができています。

また、入団当初は知らない人もいましたが、違う業種の人や年齢の離れた人との人脈が広がったことがプラスになったと感じていますし、消防に入って良かったと思っています。

### 入団前と入団後での印象は？

**志村** それは本当に良かったです。

実際に入団して活動を経験した「今」と、入る前の消防団のイメージに**変化・ギャップ**はありましたか？

**飯塚** 正直、「厳しい」「忙しい」「めんどくさい」といった**マイナスなイメージ**をもっていました。実は最初に勧誘を受けたときは、そのイメージがありましたから、ちょっと不安でしたね。

でも、消防は生命に関わることで、現場では厳しく、規律ある行動が必要です。また、皆さん仕事の傍ら消防団活動をしていますので、当然忙しいし、大変な時もありますが、そんな時は、お互いが支えあい、周りの仲間がカバーしてくれます。

私が心配したような昔の体育会系の風習などはあまりなく、普段の先輩たちはとても優しく、親身になって私の事を気にかけてくれますね。

ですので、ギャップというならば、



仲間の優しさに  
支えられて活動  
しています。

消防団の人たちは「優しい」「協力的」という点です。入団して一緒に活動してみると、以前のイメージとは**真逆な印象**を受けました。

### 消防団活動のやりがいはいは？

**志村** そうですか。今まで経験したことのない活動も多くこなしてこられたと思いますが、その中で消防団の**やりがい**はどこに感じますか？

**飯塚** 地元の方たちに**感謝される**という事が一番ですね。

防火・防犯パトロールや市内一斉防災訓練などで、地域の人と接する機会がありました。その時に「いつもありがとうございます」「苦勞さま」とお声がけいいただくと、消防団が地域の中

で大きな役割を担っていると感じますし、そういう存在の一員になれたことを嬉しく思います。

### 未来の消防団員へ

**志村** それが一番嬉しいですね。最後に、これから消防団に入ろうと考えている人に、一言お願いします。

**飯塚** 消防に対するマイナスなイメージで、直接話を聞かないまま、特に考えずに断ってしまっている人が多く、と思っています。実際には、人脈が広がったり、災害現場での知識や防災減災意識の向上にもつながりますので、入団を考えている人は、ぜひ**前向きに考えてみて**ください。

**志村・飯塚** 入団お待ちしております！



## 韮崎市消防団にあなたの力を！ 消防団員募集

韮崎市に在住、または勤務する18歳以上の方であれば入団いただけます！  
みんな普段は、自分の仕事に携わりながら、「地域の仲間」で助け合い活動しています。  
詳しくは、各地区の消防団員か市総務課まで。



### 主な年間行事

- 四月 韮崎市消防団辞令交付式
- 六月 親睦ソフトボール大会
- 八月 水防訓練・可搬ポンプ交付式  
防火・防犯パトロール
- 九月 市内一斉防災訓練
- 十月 峡北支部連合演習
- 十一月 秋季火災予防運動
- 十二月 ポンプ操法訓練  
防火・防犯パトロール
- 一月 出初式
- 三月 春季火災予防運動  
消防記念日式典
- 通年 消防学校
- その他 県ポンプ操法大会、  
県ソフトボール大会、  
県消防殉職者慰霊祭 等



# 自分たちのまちは自分たちで守る

## 最新鋭の消防資機材は

## 俺達が操る!!



救助資器材搭載型ポンプ自動車

多発する自然災害の中で――

近年、火災だけでなく、多発する自然災害への対処など、地域の消防団へ寄せられる期待には、大きいものがあります。

災害が起こらない事が一番とはい

え、もしもの時のために、救助資器材搭載型ポンプ自動車を預かる藤井分団では、今年の三月二十日（日）、北杜消防署で行われた救助資器材の取扱訓練に参加しました。

見たことのない資器材・・・

エンジンカッター等、見たことのない資器材に、各団員、最初は戸惑いの様子でしたが、実際に「切断」や「破壊」等、大規模災害を想定した訓練が進むにつれ、次第に自信に溢れた顔つきへ。

訓練が終わる頃には、資器材の使い方にも精通し、地域を守る者としての責任感と、日頃の備えの大切さをあらためて自覚したような、頼もしい笑顔を見せてくれました。



いざという時に備えて、器材の使い方を学ぶ！



## 地域を笑顔にしたいんだ！

## 放水はじめ!!



放水訓練を体験  
「しっかり持ってね」  
(写真：上)

消防自動車に乗る時は  
「必ずヘルメット着用」  
(写真：下)



### 子供からお年寄りまで みんなグラウンドに集まれ！

十月二日（日）、消防団活動に対する住民の方の理解を深め、地域の防災力を向上させる「竜岡消防フェスタ」が、竜岡中央公民館グラウンドで開催されました。

竜岡分団が主催のこのイベント、当日は、家族連れの方が多く来場し、普段は体験できないアトラクションが、参加者に好評でした。

中でも、消防車に乗り地域をパトロールするコーナーは、子供達に大

人気。順番に並び列のあちこちで「カッコイイ」という声が聞こえました。

また、放水体験では、勢いよく出る水を制御するのに、かなりの力が必要になりますが、重い筒先を初めて持った人たちは、皆、びっくりする

と共に、横で寄り添いサポートしてくれる団員に、日頃の活動に対する感謝の気持ちを表していました。

# 韮崎市消防団から お知らせです！



## 韮崎市消防団サポート事業

### ◆消防団サポート事業とは

消防団員に対し、サポート店として登録させていただいた市内のお店から、一定のサービス等の優遇措置を提供いただき、消防団と地域の活性化につなげる取り組みです。

### ◆サポート店を募集しています！！

サポート店につきましては、随時募集しております。韮崎市商工会または市役所総務課の窓口へ備付の登録申請書を提出してください。

詳しくは、韮崎市 HP をご覧ください。



## 消防団活動協力員

### 消防団協力事業所表示制度

#### ◆消防団活動協力員制度

近年、消防団員の確保が非常に厳しく、また消防団員のサラリーマン化に伴い、災害発生時、迅速に現場に到着できる団員が減少しているため、消火活動の後方支援や初期消火などにご協力いただく活動協力員の方を募集しています。

#### ◆消防団協力事業所表示制度

消防団員の勤務時間中における消火活動や、入団促進などに便宜を図っていただける事業所を認定しています。

詳しくは、総務課防災交通担当にお問合せください。



## 住宅用火災警報器の更新について

住宅火災による「逃げ遅れ」防止のため、火災の発生を未然・早期に感知し、警報する火災警報器の設置が、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅は市町村条例により平成23年6月1日から義務化されています。

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れ等で、火災を感知しなくなることがあります。普段から定期的な点検を行い、10年を目安に交換しましょう。

※設置時に記入した「設置年月」や本体記載の「製造年」を確認ください。

**ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。**  
●定期的に家族で火災時の警報音を確認しましょう。

| 正常な場合は？                               | 音が鳴らない場合は？                                    |
|---------------------------------------|---|
| 正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。          | 電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。                     |
| <p>ビビ、ビビ、ビビ、ビビ</p> <p>ピーピーピー 火事です</p> | <p>…</p> <p>しーん</p>                           |
| 注) 警報音はメーカーや製品により異なります。               | ●それでも鳴らない場合は、「電池切れ」が「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。 |

空気が乾燥するこの季節、  
火の取り扱いには充分注意して下さい！

■お問い合わせ 韮崎市総務課防災交通担当  
☎ 22-1111 [内線 339・399]

